

令和3年度第3回倉吉市国民健康保険運営協議会 会議録

- 1 開催期間 令和4年1月17日～令和4年2月1日
- 2 開催方法 各委員へ資料等を送付し、書面により協議事項に対する意見及び賛否を問
い、その結果をもって協議の議決とする書面開催。

3 委員名

中川 純一委員、廣谷 静枝委員、長谷川 理恵委員、野儀 厚志委員、
松田 隆委員、野田 博司委員、福嶋 寛子委員、森本 英嗣委員、小谷 弓子委員、
蔵増 保則委員、小谷 秀昭委員、春木 眞知子委員、稲田 千明委員、笠見 猛委員、
前田 浩委員

※16人中15人が回答

4 審議結果

- (1) 令和4年度保険料について
 - ① 保険料について
賛成 15人
反対 0人
 - ② 答申書(案)について
賛成 15人
反対 0人
- (2) 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について
賛成 15人
反対 0人
- (3) 令和4年度予算(案)について
賛成 15人
反対 0人
- (4) 令和4年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画について
賛成 15人
反対 0人

以上のとおり、議事について賛成多数により原案のとおり決定した。

5 委員からの意見等

協議事項(1) 令和4年度保険料について

(質 問) 実質単年度収支や基金残高等を踏まえての料率の引き下げであるが、県内の他団体の状況はどうか。また、どの程度の基金残高で赤字の歯止めをするの

か、指標を教えてください。

(事務局) 所得の変更など料率変更以外の要因も含まれるが、令和3年度1人当たり保険料については、倉吉市と鳥取市が前年度から大きく減少している。

基金残高の指標については、前期高齢者交付金の精算や医療費の上昇などによる急激な保険料の引き上げを避けるため、2億円から4億円を残したい。基金1億円は保険料相当額の概ね10%にあたり、2億円あればある程度対応できる。4億円はその2倍の年度分になる。4億円を割り込むことが見えたときが実質単年度収支の改善を図る一つのタイミングになると考えている。

協議事項(4) 令和4年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画について

(質問) 財政効果率をみると、保険料率も単年度推移に応じ、細かく精査が必要なのではないか。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、現在基金から財政出動している状況。県納付金の動向や「協議事項(1) 令和4年度保険料について」でご回答した内容等を考慮し、今後、本則保険料の精査もさせていただきたい。

報告事項(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の実施状況について

- ・介護予防に関する取組にフレイル予防の理解が広まる事が大切。各自が日々の歩数目標を決め達成時に個人の御得感が得られるプレゼントを検討してはどうか。
- ・元気な高齢者を増やすため、継続したフレイルチェックが重要。また、多くの高齢者に血圧の自己測定をお願いしたい。
- ・引き続き、関係課及び関係団体と連携し、一体的な事業を推進してほしい。
- ・2025年問題で疾病率や要介護率が確実に上がってくる。健康寿命の延伸のため、関係団体と連携した対策を求める。
- ・限定された地区での取り組みが全市に広がるよう今後の活動に期待する。